

## 平谷川クリーン作戦

5月25日（土）第2回平谷川クリーン作戦「オオキンケイギクを除草しよう」に参加してきました。この企画は平谷川市民研究所が主催しているもので、ボランティア活動が基本です。当日は快晴で、21名の方が参加されました。



<除草の様子>



<袋に詰めて運搬>



<除草終了～お疲れ様！～>

「オオキンケイギク」は、“外来生物法”で特定外来生物に指定されており、栽培、譲渡などが原則禁止されています。除草した際も袋に詰めて運搬し、種子が周辺に飛び散らないような配慮が求められています。

同研究所は、外来種の除草などを効果的、効率的に行うために、平谷川周辺をいくつかの区域に分類し、区域の特徴ごとに対応策を検討しています。また除草だけでなく、平谷川の昆虫や魚、鳥などの観察会他、楽しいイベントも企画されています。

環境省ホームページ：<オオキンケイギク>

<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>



### <記者感想>

平谷川を楽しむため、また我々を癒してくれる平谷川とするためには、このような取組みは必要な活動のように思いました。参加者の中には、ご自分で気づかれた場所の除草や伐採を自主的に行いながら、この活動にも参加されていました。同研究所の活動予定は、「みんなの平谷川」、「ゆりのき台地活協だより」に紹介されていますので、ご興味のある方はご覧ください。



## ササユリ観賞会

6月6日（木）に、ササユリ観賞会が中央公園で開催され、当日は「ささゆりの会」に所属されている上村哲三、純子ご夫妻に案内をしていただきました。

「ササユリ」は、種から開花まで約7年かかる球根植物で、下草の除去や木の伐採などを行い、適度の日光が当たるようにしないと生育しない弱い植物です。



＜説明を熱心に聞く参加者＞



＜保護区で咲くササユリ＞

観賞会では、「ササユリ」だけでなく多くの植物や生物についての説明もありました。

我が街の名となり、リングロードの街路樹となっている「ユリノキ」は、北米原産の落葉高木（モクレン科）で、カヌー作りに使われていた木です。

また、小石川植物園で大正天皇が命名されたとも言われています。

中央公園には多くの生物（アナグマなど）も棲んでおり、里山管理に取り組むボランティアグループ「ごもくやさん」の撮影を担当している中田一真さんのホームページにくわしく掲載されています。

<https://www.asahi-net.or.jp/~jx7k-nkt/>

これまでは、里山管理ができていたのですが、木材を燃焼させてエネルギーとして使うことが減少（エネルギー革命）したため、里山管理が難しくなりました。

そのため、「ササユリ」を人工的に保護しないといけなくなったようです。

里山管理ができなくなったため、動物の生態系も変化しました。

最近、熊などの野生動物が人間の居住エリアに出没するというニュースをよく耳にするようになったのもこのためです。



＜ユリノキ＞

### 記者感想

観賞会は、とても楽しい時間を過ごすことができました。

中央公園では森林浴の癒しを感じながら散策できるのですが、平地から坂を上る辺りには「マムシ注意」と言われて、すこし身が引き締まりました。

また同公園には、カブトムシが多く集まる木々や筍がとれる場所もあるので、学外授業として活用されてはと、上村ご夫妻もおっしゃっていました。

## 枝豆づくり

6月9日（日）志手原校区地域づくり協議会「しではらの恵み」主催で、自治会共催の「黒枝豆づくり」に参加してきました。

はじめに主催の会長から、「農業はつらい作業もあるけれども、その分楽しいものであることを体験してほしい」とのお言葉がありました。

6/9はオリエンテーションと種まき、6/22に畑への植え付け、7/9には土寄せを行いました。

1回目の草刈りは、志手原営農組合の皆さんが行っていただきました。

種まきでは、種の白い「へそ」から根が出るのでその部分を下にしてパレットに入れ、肥料土をかけます。水まきや光のあて方など芽を出すためにも色々ノウハウがありますが、すべての作業は志手原地区の専門家のアドバイスを頂きながら進めますので安心です。

畑への植え付けは、約300本の苗を手作業と文明の利器（ハンドプランター）を分担して使いながら、参加者全員で体験しました。

土寄せは、株元の周辺の土を株元に寄せる作業のことです。

「土寄せ」には色々な効果があり、①苗が倒れにくくなる、②新たな根が張り出す、③下草が生えにくくなる、④土の通気と排水がよくなる。



① <パレットへの種まき>



② <苗の成長（13日後）>



③ <畑への植え付け> ※



④ <苗の植え付け後>



⑤ <土寄せ>



⑥ <苗の成長（1か月後）>

※写真は「しではらの恵み」提供

### 記者感想

暑い時期のビールと枝豆は、好きな人には至極の組み合わせだと思います。収穫は10月上旬でもう少し先のこととなりますが、非常に楽しみにしております。来年、皆さんも参加されてみては。

## ゆりのき台給食センター訪問記

7月10日（水）ゆりのき台6丁目に位置する三田市立ゆりのき台給食センターを訪問しました。当日は、給食センター所長の小東敏郎氏および統括作業長の奥仲学氏のお二人から、大変お忙しい中にもかかわらず、丁寧なご説明を頂きました。

案内された2階の会議室からは、1階の調理状況が窓ガラス越しに見学できるようになっていました。

調理中は、安全衛生の観点で窓を開けることも禁止です。調理をされる方は46名、事務所には10名、合計56名のスタッフの方が従事されています。

調理装置は、大人数の食材を調理するため大変大きく、一つの釜で一度に1,800人分が調理でき、これを毎日4回行っています。1日に約7,200食の食事を作っています。

これらの一部がゆりのき台小学校、ゆりのき台中学校に運ばれます。

調理するときには、実際の生徒数と調理する食数は異なります。小学3年生と4年生はひとり1食分として、小学高学年や中学生は1.1～1.3食、小学低学年0.8食、幼稚園児は0.6食と数えます。

例えば、中学生40人のクラスでは、約52食分を調理することになります。

調理現場では、朝の8時15分から給食の最終発送の11時40分頃までの短時間に、多量の給食を調理しなければなりません。

そのため、調理指示票の見やすさの改善や、調理者の工程ごとの交替による負担の均等化など、種々の改善を行っておられました。

調理中は、調理記録を残すとともに、食材や調理したものは、工程ごとにサンプルを採取し、2週間冷凍保管します。これは、何か問題が生じたときに、その原因を探るための分析に使われます。

食物アレルギー対策については、給食センターでは、副菜にはできる限りアレルギー食材を使わない工夫を行っています。

また学校では、献立の月間予定表を事前に保護者の方にチェックして頂き、その結果をもとにアレルギー食材が対象の子供たちに誤って食されることのないように努めています。

三田市には「ゆりのき台給食センター」のほかに、「清水山給食センター（志手原）」があります。献立は、両給食センターで日を違えています。これは、食材の仕入れが偏らないためと、万一問題が発生したときに、その影響範囲が大きくなるように配慮しているとのことでした。



<調理状況（2階から窓越し）>



<大きな釜の拡大写真>

### 記者感想

給食センターの皆さんのご尽力により、子供たちの食の安全と健康が保たれていると感じました。また、食物アレルギー対策については、給食センターと学校とのきめ細かな連携が今後とも重要であると思いました。給食がとてもおいしいと伺い、食べてみたくなりました。

## サークル活動紹介

女声合唱団「花みずき」は、平成8年に結成されました。

「花みずき」は、合唱を通して親睦をはかり地域に貢献することを目的としており、安川裕子先生のご指導のもと精力的に活動されています。

団員数は18名で、そのうち「ゆりのき台会員」は5名です。メンバーは、50代から70代で構成されています。

毎年、兵庫県合唱祭（全日本おかあさんコーラス兵庫大会）と三田市合唱祭に参加されており、今年は兵庫大会で優秀賞を受賞されました。数年に一度はコンサートも開催されています。

練習は、より高いレベルを目指しながらも、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で行われているそうです。

現在、広く団員を募集されているとのことですので、ご興味のある方はご連絡を。

**連絡先** : 079-565-6573 富川さんまで

**練習日時** : 毎週金曜日10時～12時

**場所** : フラワータウン市民センター



＜兵庫大会への参加＞



＜練習風景＞

写真：「花みずき」提供

## ソフトボール大会～雨天のため中止～

6月23日（日）「第33回ウッディタウン地区ソフトボール大会」が駒ヶ谷運動公園野球場で開催される予定でしたが、雨天のため「中止」となりました。

ゆりのき台チームのみなさんは、昨年の優勝に続く連覇を目指して練習に励んでおられましたので、来年は天候に恵まれて、無事大会が開かれますことを願っております。

### 編集後記

2か月という短期間の取材ではありましたが、我々の住んでいる地域が、自然豊かで文化的活動も活発なとても恵まれた環境にあることを感じました。

また、さらに住みやすい街にするために、我々自身が考えて実践していかなければならない課題があることにも気づかされました。とても有意義な取材活動をさせて頂きました。

## コミュニティハウスからのお知らせ

ゆりのき台自治会員には、以下の特典がありますので、ぜひご利用ください。

### 1. 会員価格での会議室の利用

集会室1,000円(80名まで)、研修室500円(30名まで)、会議室250円(15名 ※2室あり)  
※料金は2時間当たり

### 2. 軽トラックの利用

午前または午後（500円）、全日（1,000円）

### 3. 地域共通ポイント「ゆりポ」の付与、利用

付与：全会員 400P/年、役員会 200P/回、班長会 100P/回

利用：会議室・軽トラックの利用料、ゆりフェス、寄付、指定ゴミ袋など  
詳細については、コミュニティハウスまで。



# 自治会行事予定 ※予定は変更になる場合があります。

開催日	行事名
10月 6日 (日)	再生資源回収活動(1,2,3丁目)
10月13日 (日)	再生資源回収活動(4,5,6丁目、アルス)
10月14日 (月)	コミュニティハウス休館日
10月19日 (土)	第7回役員会・第3回改革会議
10月21日 (月)	コミュニティハウス休館日
10月27日 (日)	ゆりのき台フェスティバル
10月29日 (火)	コミュニティハウス休館日
11月 3日 (日)	再生資源回収活動(1,2,3丁目)
11月 4日 (月)	コミュニティハウス休館日
11月10日 (日)	再生資源回収活動(4,5,6丁目、アルス)
11月16日 (土)	第8回役員会・第4回改革会議
11月18日 (月)	コミュニティハウス休館日



## 資源ゴミ回収実績

実績	総重量	金額
7月度	16,510kg	50,440円
8月度	12,070kg	41,070円 (振込手数料330円を含まず)



## ゆりのき台コミュニティハウス

電話番号: 079-560-2338  
メールアドレス: webmaster@yurinoki.org  
ホームページURL: <https://www.yurinoki.org/>

公式LINE  
アカウント



自治会  
ホームページ



ご意見・ご感想・耳より情報をお寄せください。(氏名は公表しません)  
メール、またはコミュニティハウスのポストへ住所・氏名を明記の上、ご投稿ください。

tlahus THINK GREEN 店内商品 **10% OFF** ※一部除外品あり

有効期限: 2024年10月末迄 / 一回限り有効

公式 Instagram

北欧のガーデニングライフを提案する shop

tlahus (トラハス)

三田市学園 4-1 TEL 079-559-2620



FINE



髪にやさしい・肌にやさしいヘアカラー!!

プラゼンタカラー + 匠のカット

通常¥13200(税込) ⇒ 自治会員様 ¥11500(税込)

有効期限 2024年10月31日まで

三田市あかしあ台5-32-1 殿ビル5F

美容室 ファインスタイル

TEL 079-564-7737 (予約制)

受付時間・am10:00~pm6:00 / 定休日・月曜日

